

地盤工学会 会員・支部部
平成 20 年度第 3 回 地盤工学会 技術者教育委員会議事録(案)

日時：平成 20 年 8 月 7 日（水）15:30～18:30

場所：名古屋大学工学部 9 号館 329 号室

出席：中野・大橋・坪田・村田・竹内 欠席：木村・小林・前田(敬称略)

資料

- 資料 0：H20 年度第 2 回技術者教育委員会議事録(案)
- 資料 1：H20 年度第 3 回地盤工学会会員支部部会議事録(案)
- 資料 2：昨年度 総務部来年度事業方針・計画検討依頼書
- 資料 3：データベースコンテンツ検討 関連資料（中野委員長・前田委員）
- 資料 4：活動スケジュール表
- 資料 5：国際交流データベースについて
- 資料 6：地盤工学会誌（平成 21 年 1 月号）小特集 執筆依頼
- 資料 7：DS7 総括資料
- 資料 8：地盤工学における 2007 年問題と技術の伝承アクションプラン（大橋委員）
- 資料 9：中部地域 技術伝承サロン計画候補（坪田委員）

議題

(0) 前回議事録確認

- ◆ 議事録確認。了承された。
- ◆ 会員支部部会報告。

(1) 中間報告 目次案議論・役割分担

【目次案】

①委員会活動報告

- ・ これまでの技術者教育委員会の経緯(中部地質調査業協会フォーラム PPT)
- ・ 第 5 期技術者教育委員会の活動と現況照査
- ・ 今後取り組むべき課題整理

②事業報告

- ・ 中部地質調査業協会フォーラム
- ・ ルーマニア国際学会論文投稿
- ・ DS

- ◆ 目次案は了承。中野委員長・竹内幹事で原案（学会誌用原稿）作成。大橋委員が「技術の伝承」部分担当。9 月末完成目標。
- ◆ 上記とは別に、地盤工学会誌(H21.1 月号)小特集「地盤工学教育—技術の伝承—」の執筆依頼があった。こちらは大橋委員中心の本委員会取組を詳細に執筆。中野委員長が各担当委員長に連絡し、内容の確認をする。9 月末〆切。

(2) 第 43 回地盤工学研究発表会(広島) DS-7 その後の活動について

- ◆ 地層処分関連 DS は本年度をもって区切りとする。来年度は、「産官学連携支援委員会」で取組中のロードマップ関連事項で DS 開催を提案する（運営に関しても委譲）。
→ 中野委員長より山崎委員長に打診・了解済み。
- ◆ 本活動の継続性が必要。小峯氏を主に当事者側の意向を確認し、今後の活動方針を検討する。 → メール審議事項。
- ◆ シーズとニーズのマッチングのモデルケースとして、この取組を本委員会で整理して成果とする。
- ◆ 北山座長が総括作成。本年度より学会誌への投稿フォーマットが大幅に変更になったため、本委員会で編集。オリジナルと当日発表者資料 PPT は学会 HP に掲載。

(3) フリーディスカッション

***第 5 試案（技術士講習会全国展開）について（前回坪田委員報告）**

- ◆ 大企業は企業内で技術士養成の取組が充実している。中小企業の技術者に対しての支援が学会として必要。
- ◆ 本委員会で技術士講習会を運営するのではなく、九州支部で既により取組(モデル)があるので、それを照査し紹介することで普及していくことを本委員会の活動内容とする。
→ 九州支部担当者へ、支部取組の実情（メリット、デメリットを含め）を、各委員よりヒアリング。

***技術の伝承**

- ◆ 大橋委員より 3 つのアクションの説明。
- ◆ アクション(1)の中部地質業協会主催の中部ミニフォーラムに関しては、昨年同様、地盤工学会中部支部は後援が望ましい。参加者を地質照査に絞ったほうが本取組については理解・活動がしやすい。
- ◆ アクション(2)技術の伝承サロンについて、候補者紹介。坪田委員より、計画候補の紹介。
- ◆ 第 1 回サロン(名称検討)を植下氏を講師に開催。日程は 11 月 6 or 7 日とする。
→ 大橋委員・坪田委員で調整（委員会後、11 月 6 日、メルパルクにて開催が決定）。
- ◆ 各機関におけるサロン講師推薦候補を、現評議員にヒアリングする。

***技術者の地位向上/社会貢献**

- ◆ 村田委員より 8/26 開催の中津川市の砂防講習会が紹介。ビデオ撮影により映像として活動の紹介、参考とする（許可済み）。
- ◆ 名古屋市名東区の事例紹介。横浜市ではハザードマップが定着。
- ◆ 一般住民は地盤に対してのニーズが結構多い。学会に対応窓口がない。
- ◆ 村田委員の一般住民に対する NPO 活動取組を本委員会で照査・紹介することで、学会全体に対して提案。

***DB**

- ◆ 前田委員作成によるコンテンツ案、学会内の DB 現況の紹介。
- ◆ 広報委員会へ切は 9 月中。本委員会からのコンテンツ案を提案.
- ◆ 中野委員長より国際部作成 DB 紹介。さらに参加プロジェクトの経験、災害調査等の項目の提案。

(4) 今後の予定

* スケジュール表の確認

* 平成 21 年度計画（次期技術者教育委員会）：委員長が案を作成し，メール審議

(5) その他

* 次回開催日程

11 月 6 日 or 7 日(木) 14 : 00～16:00 於 ジオラボ中部会議室（サロン開催と同日開催）